



会派みどり
山本 正信

市長の基本姿勢について

質問 財政健全化の達成について何パーセントぐらいか伺う。

答弁 平成31年度までに5億円の収支改善を目標としました。事務事業では約1億2千万円を目標とし、現在8、952万円で約74%ですが目標達成のため関係各所との調整を進めながら取り組みます。

質問 基金を取り崩さない予算編成の基本的な考え方を伺う。

答弁 財政健全化計画の推進、持続的発展のための必要な選択、費用対効果の十分な検討など、事業の積極的な見直し、有益性の高い事業継続のための特定財源の確保、公共施設マネジメントによる将来負担の圧縮などにより事業の再構築を図っていく予算とします。

農業行政について

質問 北の米蔵の改修にかかる進捗状況を伺う。

答弁 JAたきかわでは平成33年

度まで補助事業の活用は予定はないとのこと。市としては、引き続き補助事業の活用の際にアドバイスを行っていきます。

質問 農家戸数減少対策について、農家戸数の減少が地域経済の低迷につながっている。近年、国際的に小規模農家や家族経営農家が見直され、先般国連では小農宣言が採択された。多様な小規模農家が生業として成り立つことこそ、地方活性化につながると思うが、市長の考えを伺う。

答弁 本市の農家戸数は、平成20年の563戸が29年には418戸、認定農業者は20年の247戸から現在の197戸となり、地域経済に及ぼす影響も少なくなっていると思っており、本市として認定農業者を中心としたICT化の推進など各種対策を進めています。

また、大規模経営だけでなく施設園芸を組み合わせた複合経営や6次産業化など、さまざまな形態の農業者が安定した経営ができるように取り組んでいるところです。本市の農村地域維持のため、市長会などを通じて国に対し、提言を行っていきたくと考えています。



新国会
本間 保昭

店舗リノベーション支援事業補助金について

質問 平成30年度における店舗リノベーション支援事業補助金の執行状況と課題について。また、利用拡大に向けた今後の取り組みについて伺う。

答弁 当該制度については、平成27年度にスタートし、現在まで8件の空き店舗解消につながっています。本年度は1件を採択し、70万円を交付しています。また、申請につながりそうな相談も受けている状況にあります。空き店舗の著しい老朽化が課題となつていきます。今後も引き続き事業を取り進める予定ですが、より多くの人知ってもらおうための情報発信や相談者への対応を十分に行うよう努めていきます。

市立病院経営計画について

質問 平成28年度と29年度の決算において、経常損益など計画の数

値に達していない状況にあるが、30年度の経営状況についても現状において大変厳しいものと認識しています。30年度以降の計画は大変高い数値が記されているが、32年度の経常比率100%以上と資金不足の解消という計画の目標達成に向けて、その現状認識と対策について伺う。

答弁 本年度の4月から10月までの入院患者数が前年度比8・7%減少しており、現状をベースに考えると経営計画で示している数値には到達できないと考えています。

また、中空知の他の自治体病院においても入院患者数が減少しており、減少の明確な理由はつかめていない実情にあります。

対策については、医療の質を上げ診療を充実していくことが患者数の増加につながると考え、現在行っているプロジェクトを一層推進しなければなりません。現状急激に患者数を増加させる妙案は見い出せていません。

計画と実績に大きく差異が生じることから、早急にこの経営計画を根本的に見直す必要があると考えています。